

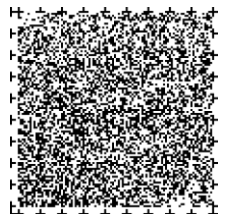
## 心にのこっているできごと

小 二

わたしが、前にすんでいたAけんの学校から、この学校にてん校してきた時のことで、心にのこっているできごとがあります。

はじめてこの学校にきた時、すごくドキドキしました。みんなわたしとはちがう話し方をしていたので、どんなことをしゃべっているのか、どんないみなのかわかりませんでした。みんなとかよくできるか、うまくやっっていけるか、とても心ぱいになりました。Bけんの学校の名前も、みんなの名前もぜんぜんしりませんでした。

その時、わたしは、自分からしゃべることができませんでした。自分の話し方がみんなとちがっていて、わらわれたらいやだなと



思っていたからです。A けんのしやべりかたと B けんのしやべりかたは、かなりちがっていました。

どうしたらいいのか、なやんでいたわたしに、

「友だちになろう。」

と C ちゃんが話しかけてくれました。わたしは、

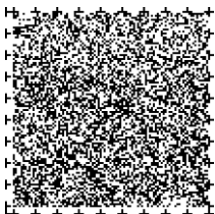
「いいよ。」

と言いました。とてもうれしかったです。C ちゃんとは、すぐになかよしになりました。C ちゃんのおかげで、ことばやしやべりかたが気にならなくなりました。

もう一つ、心にのこっているのが、A けんのクラスの友だちからアルバムをもらったことです。ひょう紙には、みんなのしやしんとこんな文が書いてありました。

「えがおのすてきな D ちゃん。いつまでもお元気で。」

また、E ちゃんからは、

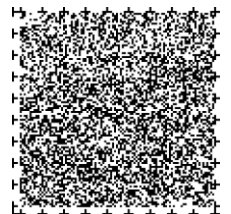


「Dちゃん、おわかれする前に友だちになってよかったね。すぐくうれしいよ。さよならしても、ずうっと友だちだよ。」

と書いてありました。わたしは、その文を見ると、だんだんさみしくなつて、なみだが出てきてしまいます。でも、みんなのあたたかい気持ちがわつたわつてうれしくなつて、がんばろうという気持ちになります。

今、わたしがたのしく生活できているのは、Aけんでの大切な思い出と、この学校のやさしい友だちのおかげだと思っています。はじめは、しゃべりかたがちがうから、なかよくできるかなと思つた友だちとも、今はすっかりなかよくなり、何でも話せるようになりました。

わたしがこまっぺにいる時に声をかけてくれたCちゃんのように、人の気持ちを思いやつてやさしくしたり、Aけんの友だちの



ように人の心にひびくことばを友だちにかけてりしたいと思  
います。わたしがみんなにしてもらったように。

